

平成 29 年度コミュニティソーシャルワーク事業 実績報告書

1. 総合的福祉相談（詳細は別紙）

	29 年度	28 年度
個別相談支援（延べ件数）	7,254 件	7,146 件

（1）個別相談支援

[相談方法]

	29 年度 (延べ件数)	28 年度 (延べ件数)
電 話	3,787 件	3,644 件
訪 問	1,254 件	1,214 件
来 所	828 件	809 件
出先にて	926 件	1,015 件
相 談 会	115 件	115 件
そ の 他	344 件	349 件
合 計	7,254 件	7,146 件

[対象者]

	29 年度 (延べ件数)	28 年度 (延べ件数)
0～9 歳	97 件	66 件
10～19 歳	231 件	98 件
20～64 歳	2,550 件	2,251 件
65～74 歳	1,301 件	1,256 件
75 歳以上	1,805 件	2,143 件
不明・団体等	1,270 件	1,332 件
合計	7,254 件	7,146 件

[相談内容] ※重複あり

内 容	件数	内 容	件数
健康・医療	1,951 件	家族トラブル	225 件
住まい	1,549 件	成年後見・遺言・相続・保証人	204 件
協同・コミュニティ	1,387 件	消費生活・環境・動物	127 件
介護・介護予防	1,033 件	生涯学習・日本語学習	120 件
収入・生活費・債務	732 件	税・保険・年金	116 件
近隣トラブル	563 件	虐待	104 件
子育て・教育	530 件	届出・証明	104 件
ひきこもり	408 件	ホームレス	92 件
仕事・就労支援	310 件	介入拒否・孤立	77 件
ゴミ・リサイクル	288 件	その他	156 件
安心・安全・防災	268 件	合 計	10,344 件

(2) 相談会の開催

	29 年度		28 年度	
	回数	相談者件数	回数	相談者件数
暮らしの何でも相談会	293 回	119 件	286 回	99 件

※区民ひろば 20 か所、その他集会室等 4 か所において開催

2. 地域支援活動（地域を元気にする活動）

(1) 要援護家庭等の子どもへの学習支援活動

【回数・参加者人数】

学習会名		ちゅうりっぷ	にじいろ	あおぞら	合計
開催回数（回）		16	11	30	57
参加者 延人数 （名）	子ども	202	386	778	2,217
	ボランティア等	219	285	347	
	小 計	421	671	1,125	

【対象】

- ・ちゅうりっぷ学習会（東部地域）
- ・にじいろ学習会（西部地域）
- ・あおぞら学習会（西部地域）

※ちゅうりっぷ学習会は、学習支援ボランティア（チーム「つばめ」）が主体となって企画運営を実施。定期的に打ち合わせ会を開催

【会場】

小学校、区民ひろば、区民集会室、高齢者福祉施設会議室、町会会館などを使用

【連携・協力した機関等】

小学校、区民ひろば、子どもスキップ、民生児童委員協議会、青少年育成委員会、大学、子ども食堂、地域福祉サポーター、生活福祉課、地域住民 など

(2) 大正大学社会福祉学科サービスラーニング（体験教育）への協力

○テーマ サービスラーニングを通して、コミュニティソーシャルワークについて考える

CSW 圏域	会場	内容	参加者数
東部	区民ひろば南大塚	・区民ひろばプログラムへの参加	85名 ※4クラスが各圏域にわかれて活動
いけよんの郷	区民ひろば池袋	・区民ひろば事業活動への協力	
アトリエ村	区民ひろば富士見台	・CSW事業活動参画	
西部	区民ひろば千早	・区民ミーティング参加など	

※サービスラーニングについて

1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり「社会活動を通して市民性を育む学習」。地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するもの。

(3) 学びあい・支えあいの地域活動

地域住民や民生児童委員、町会・自治会、福祉関係団体等が、小地域でネットワークを構築して、地域課題の共有や、解決に向けた取り組みを行うなど、共に学びあい・支えあう活動を展開した。

①しゃべり場朋有（中央圏域）

目的	区民ひろば朋有運営協議会と社協CSWが協働し、住民同士の話し合い、学び合いの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりを行う。
内容	<p><第1回>「片付け」～これからの生活をより快適にするために～ 講師にさかきえみこ氏（暮らしのアドバイザー）を迎え、災害と片付けについての講演の後、グループで話し合いを行った。</p> <p><第2回>悪徳商法にご用心 消費者生活相談員を講師として招き、パワーポイントや〇×式カードで、悪徳商法の手口や対処方法などを学んだあと、グループで話し合いを行った。</p> <p><第3回>豊島区の減災 防災危機管理課職員を招き、災害時のDVDを見たあと減災や補助救援センターについての話を聞き、グループで話し合いを行った。</p>
関係機関・連携	区民ひろば朋有、メロス言語学院、地域活動支援センターこかげ、こどもスキップ朋有、豊島消防署、巣鴨警察署
実績	日時：年3回 会場：区民ひろば上池袋 回数：3回 参加者数：95名

②きんぎょサロン（中央圏域）

目的	年齢・性別に関係なく、社会参加の場・社会貢献の場として、生きがいくりの一助を担う。地域での交流や他者とのかかわりを求めている方の居場所や仲間づくりの場として位置づける。
内容	エプロン、袋物作成、編み物などの手仕事、切手整理。製品はフリーマーケット等で販売し、収益は子どもの活動（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク）に寄付。開催時は区民ひろばの職員が様子を見に入り、参加者に声かけをするなどの体制でバックアップし、日にちを忘れてしまう、ひろばの場所がわからない、体調不良等には、地域福祉サポーター・CSW が声かけ付き添いなどひとりひとりに寄り添い支援をしている。
関係機関・連携	区民ひろば上池袋、区民ひろば上池袋運営協議会、NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク、三寿会（高齢者クラブ）、高齢者総合相談センター、くらし・しごと相談支援センター、豊島ボランティアセンター
実績	日時：毎週水曜日 14 時～16 時 会場：区民ひろば上池袋 回数：53 回 参加者数：343 名

③麦の家やってみる会（中央圏域）

目的	地域住民が「麦の家」に集い、利用者・地域住民と一緒に制作した看板の補修や様々なものづくり、麦の家の作業手伝い等を行うとともに、利用者との交流もはかる。
内容	麦の家の看板修復作業、布ぞうりづくり、麦の家作業のお手伝い、くすのき荘にてお正月遊び、手作り餃子・手作りピザの会などを行った。
関係機関・連携	民生委員、地域福祉サポーター
実績	日時：不定期（月 1～2 回） 会場：地域活動支援センター麦の家 回数：15 回 参加者数：53 名

④地域社会との絆～明治安田生命保険相互会社の地域貢献活動～（ふくろうの杜圏域）

目的	明治安田生命保険相互会社では、地域の一員として、豊島区高田の事業所に勤めている 446 名の社員が地域福祉サポーターに登録している。また、近隣小学校、区民ひろば等と連携して地域貢献活動を実践することで、地域社会との絆を深めることを目的としている。
内容	<高南小学校見守り隊> 高南小学校での自転車安全教室開催日に、38 名の社員が子どもたちの登校時の見守り活動を行った。 <高南ひろばまつりへの参加・協力> 高南ひろばまつりに 25 名の社員が参加し、準備や受付、大人の輪投げコーナーのお手伝い、社協と協働で「かえっこ」コーナーを出店した。
関係機関・連携	高南小学校、区民ひろば高南、明治安田生命保険相互会社
実績	回数：2 回 参加者数：63 名

⑤池袋本町一丁目町会地域見守り検討会（いけよんの郷圏域）

目的	子どもから高齢者までの誰もが安心安全に暮らせる町会を目指す。全世帯を町会員と認識し、地域から孤立を防ぐ支援を『きずなサロン』を軸にじっくり継続的に行う。地域福祉活動を行っている関係者がお互いに横のつながりを持ち、連携・協働し、地域の実状に合った『支えあい』のしくみを作る。
内容	『見守り対象者名簿』と『見守りマップ』を作成し、半年に1回を目途に情報交換を行いながら名簿の更新を行う。地域課題について話し合う。『きずなサロン』について議論する。
関係機関・連携	高齢者福祉課、いけよんの郷高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第3土曜日 10時～12時 会場：池袋本町第2区民集会室 回数：6回 参加者数：92名

⑥ふれあいグループ（いけよんの郷圏域）

目的	主に池袋本町に住んでいる高齢者を元気付けるためのボランティア活動を企画・実施することを目的としている。
内容	学校や地域のイベントのチラシを作成し、池袋中学生と一緒に近隣住民へチラシを配布する。池袋中学生と一緒に地域住民を招いて茶話会を開催する企画を実施する。勉強会を毎月一回開催し、中学生との見守り活動に関する話し合いや、豊島区の高齢者を取り巻く現状について学ぶ。
実績	日時：月1回 19時～20時30分 会場：池袋本町コミュニティセンター隣 回数：19回 参加者数：30名 協力者数：323名

⑦集合住宅における茶話会（アトリエ村圏域）

目的	マンションに暮らす高齢者（特に一人暮らし）を中心に参加を呼び掛け、閉じこもりや孤立を防ぎ、住民同士の交流を通して居場所や仲間づくりの場とする。また、必要に応じてマンション住民以外の地域住民も受け入れることで、マンションと地域の住民間の交流を図る。区民ひろばを開催場所とすることで、地域に出るきっかけづくりとする。
内容	お茶を飲みながら話をしたり、折り紙や手芸、座ってできる体操などを行う。同じマンション内でもつながりのない一人暮らし高齢者が定期的に参加をしており、実態把握が出来た。定期的な開催により参加者同士の関わりも出来始め、茶話会以外の時間で参加者同士が声をかけあったり、話をする機会が増えてきた。
関係機関・連携	アトリエ村見守り支援事業担当、区民ひろば富士見台
実績	日時：毎月第4木曜日 13時30分～14時30分 会場：区民ひろば富士見台 回数：12回 参加者数：31名 協力者数：44名

⑧ゆったり茶の間＜集合住宅コミュニティ活性化支援＞（西部圏域）

目的	集合住宅内でのつながりが希薄化している中、一人暮らしの孤立化や複合的な課題がある世帯などもある。集合住宅内の生活課題等のニーズ把握や住民同士のつながり、自治会の活性化などを目的とし、茶話会形式の「暮らしの何でも相談会」を開催する。
内容	集合住宅内の住民同士や世代間の交流の活性化になるように、映画上映会やおにぎり会といった食事会、健康体操、けん玉遊び（むかし遊び）など、さまざまな企画を自治会と参加者（住民）と共に検討して、実施している。集合住宅の地域課題や生活課題について、自治会と住民が共有し検討する場にもなっている。
関係機関・連携	民生児童委員、高齢者総合相談センター、東京都住宅供給公社、地域住民
実績	日時：毎月1回 会場：都営住宅内集会室 回数：11回 参加者数：147名 協力者数：43名

⑨地域貢献検討会議（小地域福祉活動ネットワーク会議）（西部圏域）

目的	小地域福祉活動のネットワークを構築し、小学校区程度地域の様々な生活課題や地域課題を共有、解決に向けた検討することを目的とする。
内容	千川の杜（高齢者施設）を地域の拠点と捉えて、地域住民、民生児童委員、地域福祉サポーター、高齢者総合相談センター等の地域と関係機関が一同に顔を合わせる小地域福祉活動のネットワーク構築をしている。小地域エリアの様々な生活課題や地域課題を共有し、解決に向けた取り組みや仕組みについて検討する。具体的な取り組み案が挙がった場合は、その都度、部会を立ち上げて、企画検討していく。
関係機関・連携	千川の杜、民生児童委員、地域福祉サポーター、地域住民、高齢者総合相談センター、せんかわみんなのいえ保育園、在宅医療相談窓口
実績	日時：隔月1回 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：6回 参加者数：90名

⑩高松二丁目町会 安心・安全相談窓口プレート作成・配付（西部圏域）

目的	町会員がこれからも住みよい街でいられるために「安心・安全相談窓口プレート」をCSWと共同で作成。町会員全世帯に配布し、生活全般の困りごと等があったときに、いつでも気軽に安心して相談できることを目的としている。
内容	町会員全世帯の950世帯に、安心安全相談窓口プレートを民生児童委員、地区長が配布する。プレートには、町会の民生児童委員、CSWの連絡先を掲載している。マグネット式のプレートの為、冷蔵庫等いつも目にするところに貼ってもらえるようになっている。困ったときに思い出してもらえるような、身近なものになっており、赤ちゃんから高齢者まで全世代を対象としている。
関係機関・連携	高松二丁目町会の民生児童委員、高松二丁目町会
実績	プレート配付数：950世帯

(4) サロン活動等の立ち上げ・運営支援

地域住民が中心となって実施している、もしくはこれから実施したいと考えているサロン活動等の地域活動について、CSW が立ち上げや運営の支援を行った。

①きずなサロン（いけよんの郷圏域）

目的	「池袋本町一丁目町会に住む方々のきずなが深まれば」という願いを込めて開催されている。町会加入に関わらず参加が可能とし、サロンを通して地域が一体となり安心・安全な生活ができることを目的としている。
内容	昔懐かしい映画鑑賞会、楽器演奏や歌の披露、地域のコーラス、マジック・落語の芸人をゲストに呼び、毎回工夫を凝らした出し物を行っている。またラジオ体操や輪投げで体を動かしたり、お茶を飲みながらの歓談をしたり、参加者も毎回楽しみにしている。
協力者	高齢者福祉課、いけよんの郷高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第3土曜日 13時～15時 会場：池袋本町第二区民集会室 回数：6回 参加者数：114名 協力者数：82名

②「せんかわ」ふるさとひろば（西部圏域）

目的	地域の子育て家庭と高齢者がふれあえる世代間交流の場づくりを目的としている。
内容	乳幼児の遊びコーナー、工作コーナー、喫茶コーナー、相談コーナー等を実施している。乳幼児に優しい木育広場の木のおもちゃを使用している。歌や読聞かせ、抹茶体験、ママへのマッサージ体験など、様々なイベントも催している。広報は、Facebookを活用して活動の周知をしている。また、町会の掲示板や保育園、ひろば等でチラシを掲示している。
協力者	地域福祉サポーター、民生児童委員、地域住民、助産師、西部子ども家庭支援センター、せんかわみんなの家保育園、千川の杜
実績	日時：毎月最終月曜日 10時30分～12時 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：12回 参加者数：277名 協力者数：192名

(5) 個別及び地域課題の把握のための活動

CSW が、個別及び地域課題の把握や、地域住民同士の顔の見える関係づくりなどを目的として、茶話会等を実施した。

①茶かもん会（菊かおる園圏域）

目的	日ごろちょっと気になる話題などを、昔ながらの井戸端会議のようにお茶を飲みながら、堅苦しくない雰囲気でお話していただくことにより、情報交換を行うとともにお互いが顔の見える関係を築き、地域力向上につなげる。
内容	地域住民の身近な課題をテーマとして設定し、関係機関等から話をしていただいた後、お茶を飲みながら話し合っていたく時間を設定。茶話会には菊かおる園高齢者総合相談支援センターの見守り支援事業担当にも加わっていただき、参加者がテーマについてのみならず、日ごろから気になっていること等を気軽に話していただける場としている。
関係機関・連携	菊かおる園高齢者総合相談センター、区民ひろば西巢鴨、ボランティアセンター、巢鴨地区民生児童委員協議会
実績	日時：年3回（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば西巢鴨第一 回数：3回 参加者数：38名 協力者数：19名

②おおつか茶かもん（東部圏域）

目的	生活に役立つことをテーマにした茶話会を区民ひろばで開催することで、今までひろばを利用しなかった層に働きかけ、参加者同士の顔と顔の見える関係作りを目指す。
内容	毎回生活に役立つことをテーマにして、講師に分かりやすく伝えてもらい、お茶を飲みながら参加者同士の交流を図る。
関係機関・連携	区民ひろば南大塚、大正大学手話サークル Pocky、福祉サービス権利擁護支援室、ボランティアセンター、民生委員、遠妙寺
実績	日時：不定期（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば南大塚 回数：7回 参加者数：139名 協力者数：48名

③みみよりサロン～暮らしとお金の勉強会～（西部圏域）

目的	高齢者の詐欺被害、相続や税金等、身近な暮らしに関わるお金について、「自分の資産（お金）を守ること・活かすこと・増やすこと」をテーマに、住民学習会を催す。また、参加者同士で経験談や対策方法等を共有し、資産に関する意識の向上を図る。
内容	ファイナンシャルプランナーの資格を所有している地域福祉サポーターが講師になり、参加者の関心事や困っている事例を参考にし、暮らしに役立つ耳寄りな情報を提供している。
関係機関・連携	地域福祉サポーター
実績	日時：毎月第1水曜日 10時30分～12時 会場：区民ひろば千早 回数：10回 参加者数：70名 協力者数：30名

(6) 地域活動の担い手やボランティアの養成・育成

これまで地域活動に参加したことのない地域住民や、退職後のアクティブシニア等に対して、地域活動への参加のきっかけづくりを行った。

①男性のためのボランティアスタート講座及び男性ボランティア交流会（西部・アトリエ村圏域）

目的	地域になかなかつながれていない男性が、男性限定のボランティア講座をきっかけに、身近な地域で男性同士の交流や、ボランティア活動につながることを目的とする。
内容	豊島ボランティアセンターと CSW 共催の「男性のためのボランティアスタート講座」を実施。（アトリエ村圏域は参加者の都合により第2回以降は実施せず） 第1回：ボランティアについての基礎講座（西部・アトリエ村圏域） 第2回：福祉施設等でのボランティア体験（西部圏域） 第3回：ボランティア体験の振り返り（西部圏域） その後、講座受講者と地域の男性ボランティアの交流会を開催（西部圏域）
関係機関・連携	<西部圏域> 千川の杜、せんかわみんなの家保育園、子どもスキップ千早、アトリエ村、学習支援団体たけのこクラブ、民生児童委員、町会 <アトリエ村圏域> アトリエ村、スノードロップ、としまコスモスの会、地球郷、あおぞら学習会
実績	<西部圏域> 回数：4回 延べ参加者数：33名 延べ協力者数：21名 会場：千川の杜地域交流スペース、各ボランティア体験先施設 <アトリエ村圏域> 回数：1回 延べ参加者数：8名 延べ協力者数：3名 会場：アトリエ村会議室

(7) 「学生出前定期便」への支援（菊かおる園圏域）

大正大学学生によるボランティア活動『学生出前定期便』について、相談者からの申込受付を CSW が行い、活動を通して利用者の生活状況やニーズを把握、必要に応じて関係機関へ繋ぐ。行政によるサービスに抵抗感を示す住民へのアプローチなど、個別訪問が難しかった支援対象者の実態把握を行うことができた。また、活動のPRと住民と学生の交流を目的として、サロンを実施した。

活動日時	活動範囲	活動内容	活動件数 (延べ)	活動者数 (延べ)
月曜日 9時～12時 木曜日 13時～16時	大正大学周辺	概ね30分程度で行える作業 ・パソコン使用方法説明 ・草むしり ・電球の取り換え ・話し相手 等	77件	228名

【サロン】

会場	回数	参加者数	参加者属性
都営西巢鴨二丁目 アパート集会室	1回	30名	地域住民、学生、地域福祉サポーター、 高齢者総合相談センター職員 など

3. 地域福祉サポーターの養成及び活動の推進

(1) 登録者

登録者数：個人 246 名 法人 1 団体（446 名）

【属性】

個人：一般区民、大学生、元民生児童委員、ハンディキャブ利用会員、金融機関職員、NPO 法人職員、弁護士、社会福祉士、税理士、ケアマネジャーなど

法人：生命保険会社

【個人登録者 性別・年代】 最年少：21 歳 最高齢：88 歳 平均年齢：62.6 歳

性別 年代	男	女	計	割合
10 代	0 名	0 名	0 名	0%
20 代	4 名	2 名	6 名	2.4%
30 代	4 名	4 名	8 名	3.3%
40 代	14 名	8 名	22 名	9.0%
50 代	18 名	31 名	49 名	19.9%
60 代	37 名	45 名	82 名	33.3%
70 代	19 名	46 名	65 名	26.4%
80 代	3 名	11 名	14 名	5.7%
計	99 名	147 名	246 名	100%
割合	40.2%	59.8%	100%	

(2) 説明会

実施回数：4 回（その他、随時実施）

仮登録者：38 名

内容：①地域福祉サポーター活動の趣旨説明

②意見交換

(3) スタート研修

実施回数：個人向け 5 回 法人向け 5 回

受講者数：個人 54 名 法人 227 名

修了者数（登録者数）：個人 54 名 法人 227 名

内容：①講義：豊島区の現状と課題、地域福祉サポーターについて など

講師：豊島区民社会福祉協議会 職員

②グループワーク「私たちが暮らすまちの中で起きている生活課題」

③連絡事項、修了証書授与

(4) テーマ別学習会

実施回数：3回

延べ参加者数：98名

内容：テーマ別の講義、グループワーク 他

1	開催日時	平成 29 年 8 月 10 日（木） 14：00～16：00
	会場	生活産業プラザ 3 階 大会議室
	テーマ	地域の中で生きる～きっかけは 1 人の男の子でした～
	講師	スノードロップ 皆川 美香 氏
	参加者数	23 名
2	開催日時	平成 29 年 12 月 15 日（金） 14：00～16：00
	会場	生活産業プラザ 3 階 大会議室
	テーマ	地域の子どもを地域で見守る～今私たちにできること～
	講師	東部子ども家庭支援センター 後藤 慎也 氏、志賀 恵子 氏
	参加者数	16 名
3	開催日時	平成 30 年 3 月 16 日（金） 14：00～16：00
	会場	生活産業プラザ 3 階 大会議室
	テーマ	発達障がいの子と幸せに暮らすヒント～4 人のわが子が教えてくれたこと～
	講師	発達障害ハッピーサポート 堀内 祐子 氏
	参加者数	59 名（子ども 1 名含む）

(5) 圏域ごとの交流会

サポーター活動に関する情報交換などを行い、身近な地域（CSW 圏域単位）で地域福祉サポーター同士の交流を深めた。また、隣接圏域単位（ユニット）での実施も試みた。

実施回数：8回

延べ参加者数：69名

内容：地域福祉サポーター活動に関する意見交換、交流 他

CSW 圏域	回数	延べ参加者数
菊かおる園	2回	10名（男6名、女4名）
東部		
中央	2回	27名（男14名、女13名）
ふくろうの杜		
豊島区医師会	1回	7名（男2名、女5名）
いけよんの郷	1回	3名（男1名、女2名）
アトリエ村	1回	15名（男6名、女9名）
西部	1回	7名（男5名、女2名）
合計	8回	69名（男34名、女35名）

4. 「福祉なんでも相談窓口地区連絡会」の開催（平成 29 年度 4 月事業開始）

区内の 26 社会福祉法人の連携による「福祉なんでも相談窓口」事業において、窓口設置法人と 8 地区ごとに連絡会を実施。事業実施状況の確認の他、地域課題に関する情報交換などを行い、潜在的なニーズの掘り起こしや多職種・多機関のネットワークづくりを行った。

実施回数：8 回

延べ参加者数：52 名（内、社協職員 25 名）

内容：「福祉何でも相談窓口」実施状況・意見交換、地域課題等に関する情報交換 他

地区	会場	回数	出席者数 (内、社協職員数)
菊かおる園	菊かおる園	1 回	5 名 (3 名)
東部	駒込福祉作業所	1 回	6 名 (3 名)
中央	東池袋桑の実園	1 回	7 名 (4 名)
ふくろうの杜	敬心苑	1 回	7 名 (3 名)
豊島区医師会	いけぶくろの家	1 回	6 名 (3 名)
いけよんの郷	シオンとしま	1 回	6 名 (3 名)
アトリエ村	アトリエ村	1 回	9 名 (3 名)
西部	千川の杜	1 回	6 名 (3 名)
合計		8 回	52 名 (25 名)

5. 地域アセスメント及び地域情報の発信

地域の実態把握、社会資源調査・ヒアリングの実施、関係機関との連携・協議を行い、地域課題の把握、新たなしくみづくり等の検討、地域支援活動を展開した。

また、区内で行われている集いの場やサロン活動、活動者について取材を行い、「トモニーつうしん特集号」及び冊子「Story&Map」等を作成した。

【トモニーつうしん特集号】

発行日：平成 30 年 3 月 12 日

装丁：タブロイド判、カラー、4 ページ

発行部数：85,000 部

配布方法：新聞折り込み、区民ひろば等各窓口など

取材・掲載団体：団体紹介記事掲載／6 団体 MAP 掲載／119 団体

【Story&Map】

発行日：平成 30 年 3 月

装丁：A4 判、カラー、128 ページ

発行部数：2,500 部

配布方法：区内公共施設（区民ひろば、図書館など）、地域活動団体、一般区民など

取材・掲載団体：インタビュー掲載／34 名・団体 MAP 掲載／116 団体

6. コミュニティソーシャルワーク活動紹介冊子の作成

豊島区におけるコミュニティソーシャルワーク実践を、地域住民や関係者に分かりやすく紹介するために、実際の活動事例や実績などをまとめた冊子を作成、配布した。

発行日：平成 29 年 8 月

発行部数：1,500 部

配布先：地域住民、民生児童委員、区民ひろば、区関係部署、福祉関係団体など

7. CSW スーパービジョン体制の充実

コミュニティソーシャルワーク実践の質の向上を図るために、スーパーバイザー（学識経験者 2 名）によるスーパービジョンを受けた。また、職員間で実践上の課題共有や、解決策の検討などを行った。

スーパーバイザー会議：1 回

CSW 会議：12 回

事例検討会議：11 回